

公安委員会定例会議の開催状況

第1 日時 令和7年6月11日（水）午後1時30分から午後3時4分までの間

第2 出席者 前田委員長（司会）・松尾委員・刈谷委員

本部長・警務部長・生活安全部長・刑事部長・警備部長・情報通信部長
首席監察官・総務参事官・地域参事官兼人身安全対処参事官・組織犯罪対策参事官
交通部参事官（交企）

第3 議事の概要

〔報告事項〕

1 「高知県警察における女性警察職員活躍等の推進のための行動計画」の実施状況について

警務部から、「高知県警察における女性警察職員活躍等の推進のための行動計画」の実施状況について報告があった。

委員から、「男性の育児休業取得率がほぼ100%というのは、事業所も含めて全国的に見ても誇らしい結果であり、引き続き広く広報していただきたい。」旨の発言があった。

また、別の委員から、「若い人にとっては男性も育児休業を取って当然であるという考えが定着してきており、また、休みを取得したとしても個人の評価に影響させてはならないというのが、これからの時代の流れであり、人事政策とも連動して考える取組だと思う。」旨の発言があった。

2 令和6年度の開示請求状況等について

警務部から、和6年度の開示請求状況等について報告があった。

委員から、「個人情報など条例上の非開示事由に該当するもの以外は開示するべきであり、報告内容からすると基本が徹底されていると思う。」旨の発言があった。

また、別の委員から、「開示の可否について慎重に検討しなければならない情報もあるだろうが、開示を原則として判断していくことが、業務の効率化にもつながると

思う。」旨の発言があった。

3 春の連休期間中における山岳遭難対策の実施結果について

生活安全部から、春の連休期間中における山岳遭難対策の実施結果について報告があった。

委員から、「登山アプリ YAMAP との登山届連携協定は、仮に登山者が怪我をして動けなくなったときなども GPS で位置情報がわかるので、救助活動の大きな助けになっていると思う。」旨の発言があった。

また、別の委員から、「期間中の遭難発生がゼロというのは当たり前のことでなく、県警察の地道な広報活動と登山者の自助意識の高まりの結果であり、今後も引き続き広報活動を徹底して、更なる意識醸成に取り組んでほしい。」旨の発言があった。

4 警察犬の現状及び効果的活用事例について

刑事部から、警察犬の現状及び効果的活用事例について報告があった。

委員から、「認知症による行方不明者の増加が予想される現状等からも、警察犬の活動は重要な役割を担っており、担当者の増員と直轄警察犬の新規確保を検討していただきたい。」旨の発言があった。

また、別の委員から、「警察犬は非常に効果的な活用がされていると思うので、県民に向けて公表出来る活躍事例があれば積極的に広報していただきたい。」旨の発言があった。

[追加報告]

○ 令和 7 年度高知県警察柔道及び剣道大会結果について

警務部から、令和 7 年度高知県警察柔道及び剣道大会結果について報告があった。

第 4 個別決裁

1 銃刀法第 4 条の 3 に基づく認知機能検査医の指定について

生活安全部から、銃刀法第 4 条の 3 に基づく認知機能検査医の指定について説明があり、了承した。

2 銃刀法第28条の2に基づく猟銃安全指導委員の辞職について

生活安全部から、銃刀法第28条の2に基づく猟銃安全指導委員の辞職について説明があり、了承した。

3 風営法審査基準及び処分基準の一部改定に伴う意見公募手続きの実施について

生活安全部から、風営法審査基準及び処分基準の一部改定に伴う意見公募手続きの実施について説明があり、了承した。

4 高知県道路交通法施行細則の一部改正に伴う意見公募手続きの実施結果の公示等について

交通部から、高知県道路交通法施行細則の一部改正に伴う意見公募手続きの実施結果の公示等について説明があり、了承した。

5 公安委員会への審査請求にかかる答申書の受理、審理手続きの終結、裁決書及び裁決書謄本の送付について

公安委員会事務室から、審査請求にかかる答申書の受理、審理手続きの終結、裁決及び裁決書謄本の送付について説明があり、原案のとおり決定した。

6 公安委員会定例会議の議事録について

公安委員会事務室から、令和7年5月28日及び同年6月4日に開催した公安委員会定例会議「議事録」について報告があり、了承した。

第5 意見の聴取及び聴聞関係

運転免許センターから、運転免許の行政処分に係る意見の聴取等の結果について報告があり、審議の結果、11件（飲酒4件、無免許2、その他5件）の行政処分を決定した。